

# だいじなたまご

脚本 きゃくほん 高木あきこ たかぎ  
絵 え 有賀忍 ありがしのぶ  
製作 せいさく 社団法人「小さな親切」運動本部 しゃだんほうじん ちいしんせつ いうんどうほんぶ

たつくん 「チャボさん、げんき？」

きょうは たまご うんだ？」

学校がっこうの 休み時間やすじかん、きょうも たつくんは、  
チャボたちの こやに やってきました。

チャボが たまごを うんだら、  
たつくんたち 一年生いちねんせいが じゅんばんに  
もらえることに なっているのです。

たつくん 「はやく ぼくの ばんが  
くるよいらいな……」

——ぬく——



2

だいじな たまご

ある日の かえり、先生が、

先生

「たつくん、おまちどおさまー！  
チャボさんからの おくりもの。  
きをつけて もって かえってね」

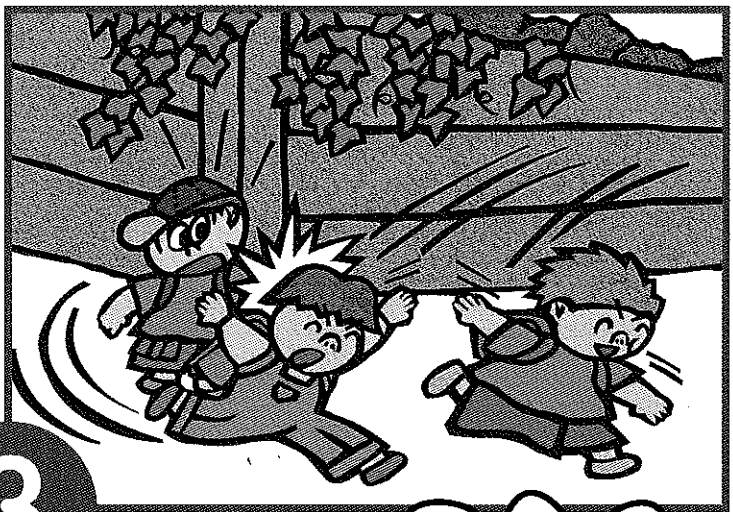
たつくん

「わーい。やったー！」

先生が ビニルぶくろに  
いれてくれた たまごは  
まだ すこし あたたかくて、  
たつくんは だいに  
ハンカチで くるみました。  
それから そうつと  
ズボンの ポケットに いれました。

たつくん

「おみやげ。おみやげ。おとうさんと  
おかあさんと おねえちゃんど、  
みんなで たべるんだ！」



3

だいじな たまご

学校<sup>がっこう</sup>を でて、まがりかどまで きたとき、  
いきなり 木の<sup>き</sup> かげから、  
おなじ クラスの ゆうくと  
しんちゃんが とびだしてきました。

ゆうくん

「ブオーン ブオーン、ひょうきだー！」

しんちゃん

「べーり まわって、グイーン！」

しんちゃんが、わらいながら  
たつくんに ぶつかって きました。  
それから ふたりは ブオーン ブオーンと  
走<sup>はし</sup>っていってしまいました。

—— ゆっくりぬきながら ——

たつくん

「ひょうき。」

ぼくも ひょうきまで かえろっかな……  
あれっ!？」

飛行機<sup>ひこうき</sup>の  
まねをする感じ<sup>かんじ</sup>で



4

だいじな たまご

たっくん

「あーっ、われちゃった!」

だいじな たまごは われて、  
なかみが ビニルぶくろの なかに  
ながれだしています。

たっくん

「どっしりゆめい……!」

——ぬく——

驚いて

ショックを受ける

ぼろげんと



たつくんは、なきそごうになって  
かけだしました。

たつくん 「ぼく、ずーっと

たまごの じゅんばんを  
まっていたのに……。  
みんなで たべようって  
たのしみしてたのに……。  
これじゃ、もうたべられないよ。  
しんちゃんなんか、きらい。  
だいつきらいだ！」

——ぬく——



うちに かえると、おかあさんが、

おかあさん 「おかえりー」。

あら、たっくん どうしたの?」

やさしく きかれた とたん、  
たっくんの 目<sup>め</sup>から  
なみだが ぶわっと あふれました。

たっくん 「あのね、きょうは ぼく、

やっと チャボの たまごを  
もらったのに、われちゃった。  
かえりみちで、しんちゃんが  
ぶつかってきたの。  
ぼく、もう、ぜったい ぜったい、  
しんちゃんと あそばない!」

たっくんは たまごを おかあさんに  
見<sup>み</sup>せながら 大声<sup>おおこえ</sup>で なきだしました。

— ぬく —



おかあさん

「だいじなたまご、たつくん。」

これ、まだ たべられるわ」

おかあさんは、たつくんの せなかを  
ポンポン たたくと、

たつくんの 手を ひいて  
だいどころへ いきました。

たつくん

「ほんとうに たべられるの?」

おかあさんは にこっと うなずいて、  
たまごの なかみを ていねいに  
スープカップに うつしました。

しおを ふって カシヤカシヤ。  
フライパンに ジュワツ。

—— たたく ——



おかあさん 「ほーら できた。」

おいしそうな いりたまご。

あじみを してみましょ

おかあさんは ちよこつと 口くちに いれて  
もぐもぐ。

おかあさん 「さすが、うみたての たまごだわ」

と じいじり。

たっくんにも ひとれじ

たぐさせて くれました。

たっくん 「ごー おうとう……」

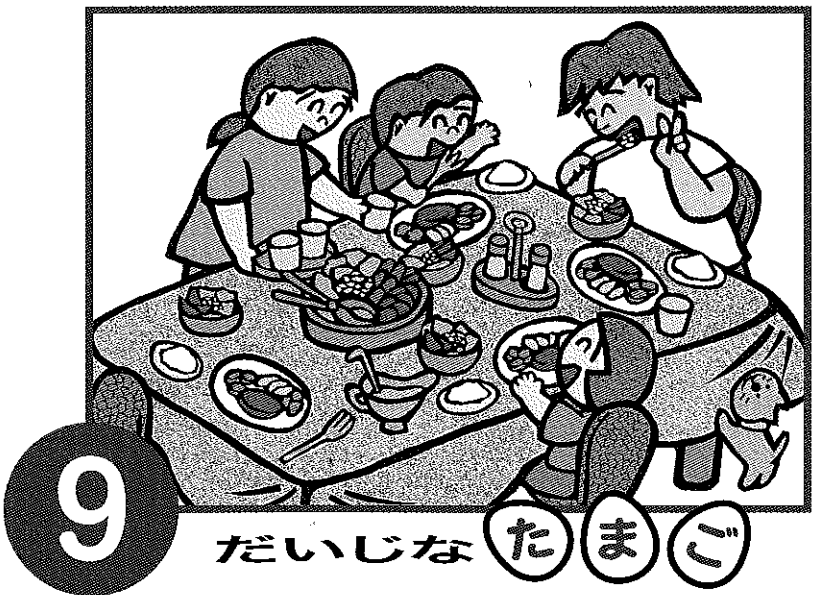
たっくんも おもわず じいじりだね。

——ぬん——

ちよつと大げさに  
感心して

ちよんたて





その日のばんごはんは、ハンバーグと  
いりたまごをのせたサラダでした。

おかあさん 「これは、たつくんが学校がっこうから  
もらってきたチャボのたまごなの」

おかあさんがいいました。

おとうさん 「そっか。チャボをかつているのか。  
うん、うまいな」

おとうさんのことばに、おねえちゃんも、

おねえちゃん 「ころがきれいでおいしーねー」

みんながほめるので、  
たつくんはうれしくなりました。

——ぬく——



10

だいじな たまご

ごはんのあと、しゅくだいをしつるよ、  
おかあさんがきました。

おかあさん

「たっくん。たまご、どいつに  
われちゃったんだっけ？」

たっくん

「えーと、しんちゃんが ゆうくと  
ひつひまごころを してると、  
ほへい、ぶしかったの」

おかあさん

「じゃあ、いまおらが よちちと  
ぶしかつちやったのかな？」

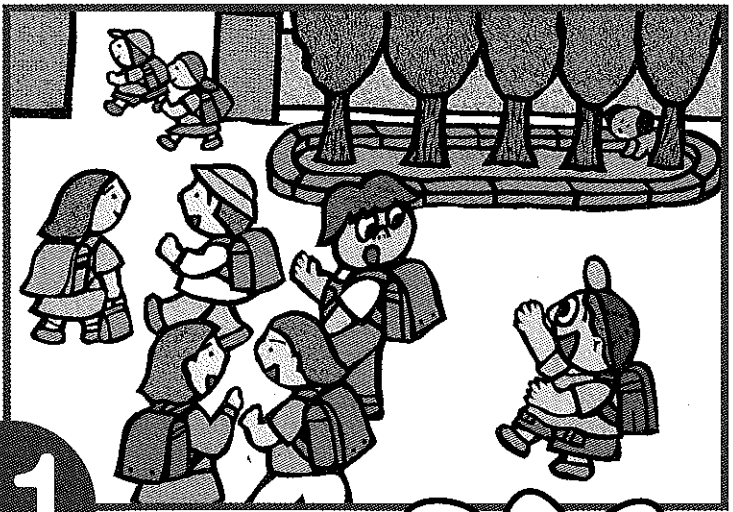
たっくん

「ひーと……」

たっくんは かんがえました。  
しんちゃんの えがおが 目に うかびます。

たっくん

「ひん、きこと、そつだよー」



11

だいじな たまご

しきの あね、

たっくん 「しんちゃん。おはよう」

しんちゃん 「あ、おはよう」

いっしょにあるきながら、  
たっくんは おもいきって いいました。

たっくん 「ほく、きのう、チャボの たまご  
もらったんだ。それで かえり、しんちゃん  
ひこうきでぶつかってきたでしょ。  
たまご、われちゃった」

しんちゃん 「えーっ……じゃ、たべられなかったね。  
ぶめえね」

たっくん 「ううん、だいじょうぶ。  
ちゃんと たべられたよ」

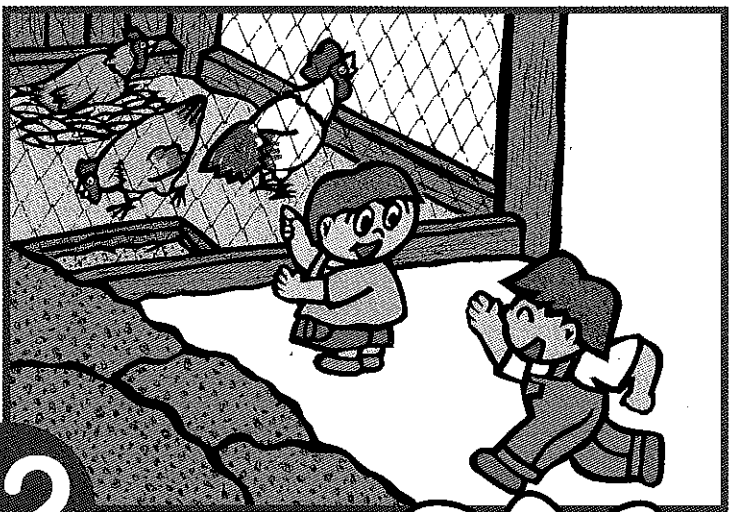
しんちゃん 「よかったあー！」

——ぬく——

驚いてあやまって

安心させるように

ほっとして



12

だいじな たまご

休み時間です。

しんちゃん

「たつくん。なにを してらるの？」

しんちゃんが、チャボの こやに  
かけてきました。

たつくん

「いまね、チャボさんに、  
きのうは たまごを ありがとうって  
はなしていたんだ。  
ぼくんち みんなで たべたよ、  
おいしかったよって いていたんだ」

しんちゃん

「そいつなの。チャボは よろこんでいるかな」

チャボ

「コーツ、コツコツコツ——」

チャボたちが げんきに  
へんじを しました。  
たつくんも、しんちゃんも えがおです。

(おしまい)